

次世代ＩＴを活用した未来型教育研究開発事業における事業計画書

伊自良村立 伊自良南小学校

研究内容	
1 年 次	<p>デジタル化（交流教育への基盤）</p> <p>ホームページに関する研修の充実 『学校、各学級のホームページの更新など』 (ホームページの画面作成・リンクに関する技能の習得をはかる。) データ（写真、資料）のストック 『行事・授業づくりに関するものなど』 (デジタル化できる資料収集を行う。) 学校の誇りにしていくようなものの確立 『伊自良村の特徴を研究（十六拍子、ハリヨなど）』 (伊自良南小学校に行けば調べたいことが分かるというものをつくり出す。) 授業の中で利用したいと思われるデジタルコンテンツの作成 (ホームページ化またはPower Point化する。)</p>
2 年 次	<p>授業への導入（交流教育へのステップアップ）</p> <p>交流の素材づくり (1年次の特徴的なものを押し出す。) 伊自良北小学校とのテレビ会議による交流 『合同で参加する伊自良青少年の家（4年）・海（5年）・修学旅行（6年）の研修の事前の顔合わせ、めあて、約束の交流、ハリヨ（伊自良南小）とギフトショウ（伊自良北小）の交流など』 (身近なところから、交流する。) テレビ会議で、どの学校と交流していくか検討</p>
3 年 次	<p>実践の交流（交流教育の充実）</p> <p>交流する学校との教師間の連携強化 テレビ会議における他校との深まりのある交流 『特徴的なものを生かした総合的な学習での交流、行事で関わった地域との交流（山の地域（伊自良南小学校）と海の地域（交流学校））との交流など』 (伊自良南小の実践内容に関する接点、行事などに関する接点などを生かし、空間・時間を意識させないような実践を意欲的に行う。)</p>

